

令和 4 年 5 月 30 日現在

機関番号：84409

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2021

課題番号：18K17107

研究課題名(和文)大規模地域住民コホート調査による短縮歯列とオーラルフレイルおよびフレイルとの関連

研究課題名(英文)Relationship between shortened dental arch and oral frailty and frailty using a large community cohort survey

研究代表者

小山 史穂子(Shihoko, Koyama)

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター(研究所)・その他部局等・疫学統計部主査

研究者番号：40779542

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文):東北メディカル・メガバンク機構でのデータ利用が人事異動や、新型コロナウイルス感染症の影響で難しくなったため、既存のデータである日本のJAGESと英国のELSAのデータを用いた解析により、口腔と全身の健康やそれに関わる社会的な影響について分析を行った。日本と英国ともに、歯の本数の減少や入れ歯の不使用といった口腔の健康が悪いことと、社会的孤立スコアが高いことの関連が明らかになった。特に英国において、口腔状態の不具合によって社会的孤立スコアが高いことは、口元を含めた口腔全体の表現を重視する欧米の文化的な背景の差が原因かもしれない。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで、高齢者において口腔の状態が良いことは、社会参加や閉じこもりにくさに影響することが明らかになっていたが、今回の研究により、良い口腔機能を保つ(歯の本数が多いこと、義歯を使用する)ことが、社会的孤立を防ぐことがわかった。日本では独居者の増加や近隣関係の希薄化に伴い、今後、社会的孤立者のその急増が予想されている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の制限から、人々の孤独・孤立の問題は深刻さを増している。本研究によって口腔の健康が社会的孤立に関連していることが明らかになり、口腔の健康の重要性を示す基礎資料になると考える。

研究成果の概要(英文):Our aim was to examine differences in the association between oral health status and social isolation among older people by comparing Japan and England. We used cross-sectional information obtained from adults aged 65+ in two ongoing prospective cohort studies: The Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES, N = 120,195) and the English Longitudinal Study of Ageing (ELSA, N = 3,958). Compared to England, more Japanese participants were socially isolated (1.4% vs. 5.8%), but fewer were edentulous (13.1% vs. 7.7%). In both countries, oral health was associated with social isolation; this association could be stronger in England than in Japan.

研究分野：社会系歯学

キーワード：口腔機能 社会的孤立

## 1. 研究開始当初の背景

先進諸国が今後訪れる高齢社会に対する課題は、現在日本が抱える最大の問題であり、世界の先駆的な研究を行うべき重点項目である。歯科補綴は高齢者を対象に行うことが多く、治療の選択は健康寿命延長に関する重要な要素である。

これまで 1981 年にオランダ補綴医 Käyser AF は「第二小臼歯まで存在すれば、積極的に補綴をしなくとも、著しい残存歯の歯槽骨レベルの減少や顎機能の異常の発現がみられることは少ない」と提唱し (Käyser AF, 1981)、欧州では短縮歯列 (Shortened Dental Arch :SDA) が支持されてきた。諸外国でのシステマティックレビューでは SDA に対して肯定的な結論を示し、機能的に健全であることを示している (Steele JG et al. 1997, Steele JG et al.2004 など)。しかし、SDA の概念は受け入れられてはいるものの、広く実施はされていないのも事実である (Kanno T, 2006)。

日本では 笹木らの研究 (Fueki K et al. 2010) で SDA に対して補綴することにより口腔 QOL と客観的咀嚼能力が向上することが明らかにされている。が、大学歯科を受診している患者に限られており、地域住民における大規模疫学調査は存在しない。

そこで、本研究では東北メディカル・メガバンク機構が施行している地域住民コホート調査のデータを用いて、短縮歯列とオーラルフレイルやフレイルとの関連について検証する予定であった。2018-2019 年にはデータ利用のための倫理審査や、データクリーニング作業などを行い、データの基礎的なデザイン論文に携わり、共著者となっている (Tsuboi A et al. 2020)。しかし、研究代表者の人事異動、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う移動制限などによって、東北メディカル・メガバンク機構のデータを使用して研究遂行が難しい状況になった。そのため、データ利用が可能で、日英比較が可能な日本老年学的評価研究 (Japan Gerontological Evaluation

Study: JAGES) データ、英国縦断高齢化調査 (English Longitudinal Study of Ageing: ELSA) データを用いて、口腔の状態 (歯の本数、義歯の利用) と社会的孤立との関連についての検証を行った。

## 2 . 研究の目的

口腔の健康状態によって、機能的な要因や審美的要因から閉じこもりなどの社会関係に影響することが明らかになっている。昨今、社会関係の問題点として社会的孤立が挙げられており、特に高齢者において、社会的孤立は様々な健康状態と関係すると言われ、社会的孤立した集団では疾病の罹患や死亡率が高いことなどが明らかになっている。

しかし、口腔の健康状態によって社会的孤立と関連があるのか、国が異なってもその関連があるのかについて明らかにした研究はなく、本研究では英国と日本の高齢者のデータを使用し、口腔の状態 (歯の本数と義歯の使用) と社会的孤立との関係を比較・検討した。

## 3 . 研究の方法

日本老年学的評価研究 (Japan Gerontological Evaluation Study: JAGES) の 2016 年の調査データと、英国縦断高齢化調査 (English Longitudinal Study of Ageing: ELSA) の 2014/15 年の調査データを用いて、横断研究を行った。(対象者数: 日本, 119,829 人; 英国, 3,958 人)。口腔状態は、歯の本数 (0 本/1-9 本/10-19 本/20 本以上) と入れ歯 (義歯) の使用 (0-9 本で義歯使用なし/0-9 本で義歯使用あり/10-19 本で義歯使用なし/10-19 本で義歯使用あり/20 本以上) を用いて評価した。社会的孤立は、 独居 (未婚あるいは配偶者・パートナーと同居していない) 子どもとの交流が乏しい (子と同居していない、あるいは子どもとのサポートの授受がない)

親戚との交流が乏しい（親戚とのサポートの授受がない）、友人との交流が乏しい（友人と会う頻度が月1回未満、あるいはサポートの授受がない）、社会参加がない、それぞれに該当した場合を各1点として0~5点で評価した（点数が高いほど孤立傾向）。口腔の状態と社会的孤立との関連性を順序ロジスティック回帰分析により解析した。解析では年齢、性別、学歴、所得、疾病、健康感、ADL（Activity of daily living）、喫煙の影響を統計的に調整した。

#### 4．研究成果

日本と英国と共通して歯の本数が少ない人や、歯の本数が少なく義歯を使用していない人は社会的孤立スコアが高く、統計的に有意な関連性が認められた。また、その影響の程度は英国にて大きい可能性が示された。具体的には、歯が20本以上ある人に比較して0本の人では、社会的孤立のスコアが高い（つまり社会的孤立が深刻である）可能性が、日本では1.24倍、英国では1.76倍、有意に高いことが示された。また、歯が20本以上ある人に比較して歯が0-9本でかつ入れ歯を使用していない人では、社会的孤立のスコアが高い可能性が、日本では1.78倍、英国では3.45倍、有意に高い結果だった。

これらの結果から、日本と英国ともに、歯の本数の減少や入れ歯の不使用といった口腔の健康が悪いことと、社会的孤立スコアが高いことの関連が明らかになった。特に英国において、口腔状態の不具合によって社会的孤立スコアが高いことは、口元を含めた口腔全体の表現を重視する欧米の文化的な背景の差が原因かもしれない。東アジアでは、感情の変化を目元で把握するのに対して、欧米では、より表現をしやすい口元で感情の変化を表すことが先行研究からも示されている（Yuki M. et al. 2007）。

日本では独居者の増加や近隣関係の希薄化に伴い、今後、社会的孤立者のその急増が予想されて

おり、さらに、新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の制限から、人々の孤独・孤立の問題は深刻さを増している。本研究によって口腔の健康が社会的孤立に関連していることが明らかになり、口腔の健康の重要性を示す基礎資料になると考えられる。

図1 . 歯の本数と社会的孤立の関連

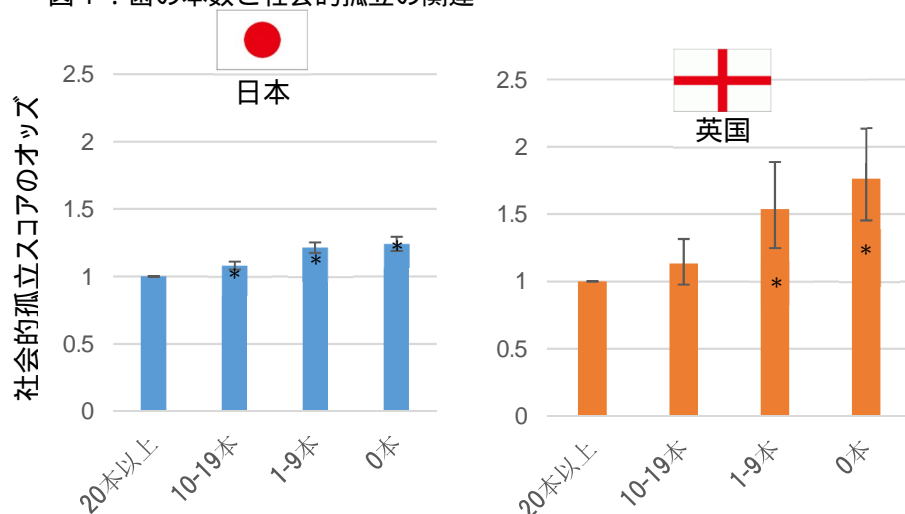
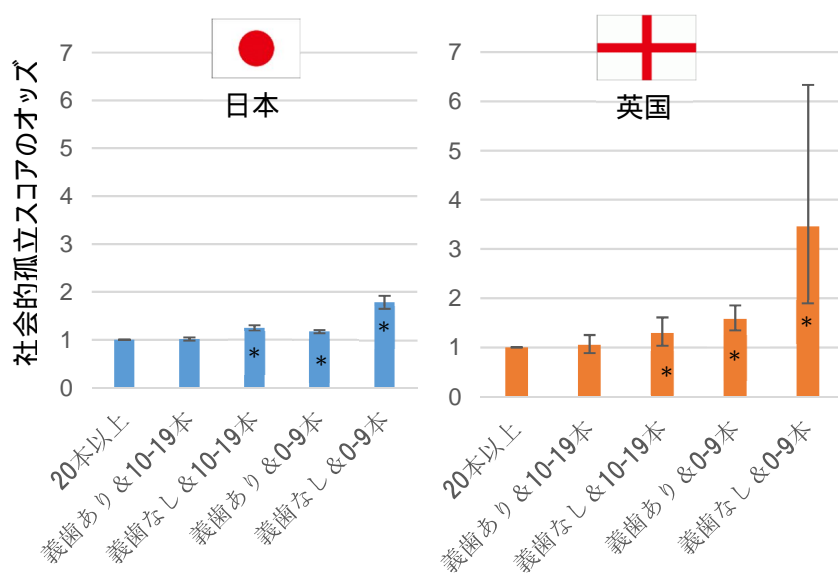


図2 . 義歯の使用と社会的孤立の関連



## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 22件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 7件）

1. 著者名 Tsuboi Akito, Matsui Hiroyuki, Shiraishi Naru, Murakami Takahisa, Otsuki Akihito, Kawashima Junko, Kiyama Tomomi, Tamahara Toru, Goto Maki, Koyama Shihoko et al.	4. 巻 251
2. 論文標題 Design and Progress of Oral Health Examinations in the Tohoku Medical Megabank Project	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 97 ~ 115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.251.97	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小山 史穂子、竹内 研時	4. 巻 70
2. 論文標題 COVID-19感染拡大下における歯科受診行動      どんな人が歯科受診に不安を抱いているのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 口腔衛生学会雑誌	6. 最初と最後の頁 168 ~ 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5834/jdh.70.3_168	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tsuji Taishi, Saito Masashige, Ikeda Takaaki, Aida Jun, Cable Noriko, Koyama Shihoko, Noguchi Taiji, Osaka Ken, Kondo Katsunori	4. 巻 91
2. 論文標題 Change in the prevalence of social isolation among the older population from 2010 to 2016: A repeated cross-sectional comparative study of Japan and England	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104237 ~ 104237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104237	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Taniyama Yukari, Tabuchi Takahiro, Ohno Yuko, Morishima Toshitaka, Okawa Sumiyo, Koyama Shihoko, Miyashiro Isao	4. 巻 31
2. 論文標題 Hospital Surgical Volume and 3-Year Mortality in Severe Prognosis Cancers: A Population-Based Study Using Cancer Registry Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 52 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Saito Masashige, Aida Jun, Cable Noriko, Zaninotto Paola, Ikeda Takaaki, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Noguchi Taiji, Osaka Ken, Kondo Katsunori	4. 巻 21
2. 論文標題 Cross national comparison of social isolation and mortality among older adults: A 10 year follow up study in Japan and England	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 209 ~ 214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noguchi Taiji, Saito Masashige, Aida Jun, Cable Noriko, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Ikeda Takaaki, Osaka Ken, Kondo Katsunori	4. 巻 11
2. 論文標題 Association between social isolation and depression onset among older adults: a cross-national longitudinal study in England and Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e045834 ~ e045834
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-045834	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama Y., Aida J., Takeuchi K., Koyama S., Tabuchi T.	4. 巻 online first
2. 論文標題 Dental Pain and Worsened Socioeconomic Conditions Due to the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Dental Research	6. 最初と最後の頁 online first
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/00220345211005782	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Tabuchi Takahiro, Aida Jun, Osaka Ken, Miyashiro Isao	4. 巻 -
2. 論文標題 Determinants of Increased Tobacco Consumption Following a Major Disaster	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Disaster Medicine and Public Health Preparedness	6. 最初と最後の頁 1 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dmp.2019.160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Tabuchi Takahiro, Okawa Sumiyo, Morishima Toshitaka, Ishimoto Shunsuke, Ishibashi Miki, Miyashiro Isao	4. 巻 105
2. 論文標題 Oral cavity cancer incidence rates in Osaka, Japan between 2000 and 2014	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oral Oncology	6. 最初と最後の頁 104653 ~ 104653
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oraloncology.2020.104653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okawa Sumiyo, Tabuchi Takahiro, Morishima Toshitaka, Koyama Shihoko, Taniyama Yukari, Miyashiro Isao	4. 巻 111
2. 論文標題 Hospital volume and postoperative 5 year survival for five different cancer sites: A population based study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 985 ~ 993
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14309	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniyama Yukari, Tabuchi Takahiro, Ohno Yuko, Morishima Toshitaka, Okawa Sumiyo, Koyama Shihoko, Miyashiro Isao	4. 巻 -
2. 論文標題 Hospital surgical volume and 3-year mortality in severe prognosis cancers: A population-based study using cancer registry data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Yuri, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Tani Yukako, Saito Tami, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro, Aida Jun	4. 巻 17
2. 論文標題 Neighborhood Ties Reduced Depressive Symptoms in Older Disaster Survivors: Iwanuma Study, a Natural Experiment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 337 ~ 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17010337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Sasaki Yuri, Aida Jun, Tsuji Taishi, Koyama Shihoko, Tsuboya Toru, Saito Tami, Kondo Katsunori, Kawachi Ichiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Pre-disaster social support is protective for onset of post-disaster depression: Prospective study from the Great East Japan Earthquake & Tsunami	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-55953-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikeda Takaaki, Tsuboya Toru, Aida Jun, Matsuyama Yusuke, Koyama Shihoko, Sugiyama Kemmyo, Kondo Katsunori, Osaka Ken	4. 巻 36
2. 論文標題 Income and education are associated with transitions in health status among community-dwelling older people in Japan: the JAGES cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Family Practice	6. 最初と最後の頁 713 ~ 722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/fampra/cmz022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujihara Satoko, Tsuji Taishi, Miyaguni Yasuhiro, Aida Jun, Saito Masashige, Koyama Shihoko, Kondo Katsunori	4. 巻 16
2. 論文標題 Does Community-Level Social Capital Predict Decline in Instrumental Activities of Daily Living? A JAGES Prospective Cohort Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16050828	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Aida Jun, Cable Noriko, Tsuboya Toru, Matsuyama Yusuke, Sato Yukihiro, Yamamoto Tatsuo, Kondo Katsunori, Osaka Ken	4. 巻 52
2. 論文標題 Sleep duration and remaining teeth among older people	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 18-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sleep.2018.07.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kusama Taro, Aida Jun, Sugiyama Kemmyo, Matsuyama Yusuke, Koyama Shihoko, Sato Yukihiro, Yamamoto Takafumi, Igarashi Ayaka, Tsuboya Toru, Osaka Ken	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Does the Type of Temporary Housing Make a Difference in Social Participation and Health for Evacuees of the Great East Japan Earthquake and Tsunami? A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi Ayaka, Aida Jun, Sairenchi Toshimi, Tsuboya Toru, Sugiyama Kemmyo, Koyama Shihoko, Matsuyama Yusuke, Sato Yukihiro, Osaka Ken, Ota Hitoshi	4. 巻 29
2. 論文標題 Does Cigarette Smoking Increase Traffic Accident Death During 20 Years Follow-up in Japan? The Ibaraki Prefectural Health Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 192-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20170330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Saito Masashige, Cable Noriko, Ikeda Takaaki, Tsuji Taishi, Noguchi Taiji, Abbas Hazem, Miyashiro Isao, Osaka Ken, Kondo Katsunori, Watt Richard G., Aida Jun	4. 巻 277
2. 論文標題 Examining the associations between oral health and social isolation: A cross-national comparative study between Japan and England	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 113895 ~ 113895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2021.113895	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koyama Shihoko, Tabuchi Takahiro, Okawa Sumiyo, Kadobayashi Takayoshi, Shirai Hisaya, Nakatani Takeshi, Miyashiro Isao	4. 巻 31
2. 論文標題 Changes in Smoking Behavior Since the Declaration of the COVID-19 State of Emergency in Japan: A Cross-sectional Study From the Osaka Health App	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 378 ~ 386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.je20200533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Tabuchi Takahiro, Miyashiro Isao	4. 巻 19
2. 論文標題 E-Cigarettes Use Behaviors in Japan: An Online Survey	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 892 ~ 892
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19020892	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyama Shihoko, Tabuchi Takahiro, Okawa Sumiyo, Taniyama Yukari, Nakata Kayo, Morishima Toshitaka, Miyashiro Isao	4. 巻 51
2. 論文標題 Hospital volume and 5-year survival in head and neck cancer patients in Osaka, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1515 ~ 1522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyab132	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 0件/うち国際学会 6件)

1. 発表者名 小山史穂子
2. 発表標題 屋内禁煙で労働できるのは52.2% ~ 2018年労働安全衛生調査より
3. 学会等名 第69回日本口腔衛生学会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小山史穂子、石本 俊介、西尾美奈子、田淵 貴大、森島 敏隆、 石橋 美樹、宮代 勲
2. 発表標題 食道がんにおける術前の医科歯科連携の実態把握
3. 学会等名 日本がん登録協議会第29回学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小山史穂子、田淵貴大、宮代勲
2. 発表標題 日本における電子タバコヘビーユーザーは切り替えではなく、併用している？
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤敬秀、石橋美樹、伊藤 章、小山史穂子
2. 発表標題 COVID-19パンデミックによるがん患者の歯科診療への影響
3. 学会等名 第65回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小山史穂子、田淵貴大、大川純代、門林孝吉、白井久也、中谷健志、宮代 勲
2. 発表標題 緊急事態宣言期間における喫煙本数の変化 大阪府健康アプリ「アスマイル」からの報告
3. 学会等名 第31回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Koyama Shihoko、Tabuchi Takahiro、Okawa Sumiyo、Morishima Toshitaka、Ishimoto Shunsuke、Ishibashi Miki、Miyashiro Isao
2. 発表標題 Trends in the incidence of oral cancer in Japan
3. 学会等名 International Association for Dental Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taniyama Yukari、Tabuchi Takahiro、Ohno Yuko、Morishima Toshitaka、Okawa Sumiyo、Koyama Shihoko、Miyashiro Isao
2. 発表標題 Hospital surgical volume and 3-year survival for pancreatic cancer patients who received a curative surgery with chemotherapy
3. 学会等名 International Association of Cancer Registries (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小山史穂子、田淵貴大、大川純代、谷山祐香里、森島敏隆、宮代勲
2. 発表標題 口腔・咽頭がんの病院別治療件数と予後との関連 - 大阪府がん登録を用いた検討
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野口 泰司、斉藤 雅成、相田 潤、辻 大士、小山史穂子、宮國康弘、池田登頭、小坂 健、近藤克則
2. 発表標題 高齢者における社会的孤立が抑うつ発症に及ぼす影響についての日英比較研究：JAGES
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石本 俊介、小山 史穂子、伊藤 章、横田 祐介、古郷幹彦、石橋 美樹
2. 発表標題 大阪国際がんセンターにおける 骨吸収抑制薬投与状況と歯科受診の現状
3. 学会等名 第64回口腔外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishibashi Miki, Ishimoto Shunsuke, Koyama Shihoko
2. 発表標題 Clinical application of episil oral liquid to severe oral mucositis
3. 学会等名 第57回日本癌治療学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋美樹, 石本俊介, 小山史穂子
2. 発表標題 エビシル口腔用液の使用経験について
3. 学会等名 日本口腔腫瘍学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小山史穂子, 石橋美樹, 石本俊介
2. 発表標題 大阪府地域がん登録における2000年以降の口腔領域扁平上皮がん罹患の推移
3. 学会等名 日本口腔腫瘍学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木由理, 相田潤, 辻大士, 宮國康弘, 長嶺由衣子, 小山史穂子, 谷友香子, 斎藤民, 近藤克則
2. 発表標題 地域のつながりとうつからの回復 日本老年学的評価研究(JAGES)3時点縦断分析
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川村桜, 相田潤, 草間太郎, 小山史穂子, 山本貴文, 池田登顕, 星真奈実, 山本龍生, 近藤克則, 小坂健
2. 発表標題 歯科医院受診の地域差の決定要因の研究
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 星真奈実, 相田潤, 小山史穂子, 山本貴文, 池田登顕, 草間太郎, 川村桜, 小坂健, 山本龍生, 尾島俊之, 近藤克則,
2. 発表標題 緑茶と現在歯数との関連はソーシャルネットワークによって異なるのか
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 草間太郎, 相田潤, 坪谷透, 杉山賢明, 小山史穂子, 山本貴文, 五十嵐彩夏, 川村桜, 星真奈実, 小坂健
2. 発表標題 フッ化物洗口へのイメージは学歴によってどのように異なるのか?
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小山史穂子, 相田潤, 田淵貴大, 坪谷透, 杉山賢明, 山本貴文, 五十嵐彩夏, 草間太郎, 川村桜, 星真奈実, 小坂健
2. 発表標題 東日本大震災による失業は喫煙本数増加に関連するのか
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小山 史穂子, 相田 潤, 小坂 健
2. 発表標題 かみ合わせ数と睡眠時間との関連の横断研究
3. 学会等名 口腔衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伏見 国弘, 相田 潤, 佐藤 遊洋, 池田 登顕, 杉山 賢明, 坪谷 透, 小山 史穂子, 小坂 健
2. 発表標題 友人の数が現在歯数にあたる影響
3. 学会等名 口腔衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊勢 円, 相田 潤, 杉山 賢明, 草間 太郎, 池田 登顕, 坪谷 透, 小山 史穂子, 小坂 健
2. 発表標題 う蝕予防情報の入手元とフッ化物洗口に対する認識の関連について
3. 学会等名 口腔衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有馬 実咲, 相田 潤, 草間 太郎, 杉山 賢明, 坪谷 透, 小山 史穂子, 山本 龍生, 近藤 克則, 小坂 健
2. 発表標題 主観的な噛み合わせと認知機能の関連性
3. 学会等名 口腔衛生学会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 坪井 裕紀, 相田 潤, 五十嵐 彩夏, 草間 太郎, 杉山 賢明, 坪谷 透, 小山 史穂子, 小坂 健
2. 発表標題 加熱式タバコ使用と禁煙への関心および禁煙行動の関連について
3. 学会等名 口腔衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shihoko Koyama, Takahiro Tabuchi, Toshitaka Morishima, Sumiyo Okawa, Shunsuke Ishimoto, Miki Ishibashi, Isao Miyashiro
2. 発表標題 Trends in the incidence of oral cancer in Japan
3. 学会等名 The International Association for Dental Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shihoko Koyama, Jun Aida, Noriko Cable, Richard Watt, Ken Osaka
2. 発表標題 Sleep duration and oral status in older English adults
3. 学会等名 The International Association for Dental Research (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koyama S, Saito M, Cable N, Ikeda T, Tsuji T, Noguchi T, Abbas H, Miyashiro I, Osaka K, Kondo K, Watt G R, Jun Aida
2. 発表標題 Examining the associations between oral health and social isolation: A cross-national comparative study between Japan and England
3. 学会等名 The International Association for Dental Research (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Koyama S,Saito M,Cable N,Ikeda T, Tsuji T, Noguchi T,Abbas H, Miyashiro I,Osaka K, Kondo K,Watt G R, Jun Aida
2. 発表標題 Examining the associations between oral health and social isolation: A cross-national comparative study between Japan and England
3. 学会等名 Society for Social Medicine & Population Health Virtual Annual Scientific Meeting 2021 ( (国際学会) )
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
英国	University College London		